

横浜発、同時代音楽を未来へ継承するシリーズ企画

2026年のテーマは日本の伝統的な「音の精神」。シリーズ初、邦楽奏者のみでの公演

気鋭の日本人作曲家への新作委嘱(世界初演)と過去の委嘱作品の再演を軸とする「Just Composed in Yokohama ー現代作曲家シリーズー」。1999年度から開催している本シリーズに、**三味線音楽の可能性**を追及し、様々なジャンルの音楽に取り組む**本條秀慈郎**が初登場。秀慈郎を含む**邦楽アンサンブル**のステージをお贈りします。

日本の伝統的な「音の精神」をテーマに、日本の作曲家による多面的かつ高解像度でハイブリッドな性質を持つ作品を並べたプログラムを、三味線を軸とした様々な編成で演奏。日本独自の精神性を表現します。また、**ドイツ在住の作曲家・岸野末利加**の委嘱新作、そして**秀慈郎による編曲で贈る**、1994年度公演の委嘱作品・**藤家漢子**《**風神**》の再演にも注目です。秀慈郎が信頼する演奏家とともに贈る、ここでしか聴けない演奏にご期待ください。



■事業概要

名称 **Just Composed 2026 in Yokohama ー現代作曲家シリーズー**

「**日本音楽のハイブリッド ポート**」～日本の作曲家が**絆**す精神と創造の未来～

会場 横浜みなとみらいホール 小ホール

日時 令和8年3月14日(土) 15:00 開演(14:30 開場)

出演者 J-TRAD Ensemble MAHOROBA

本條秀慈郎(三味線・胡弓)、川村葵山(尺八)、木村麻耶(箏・二十五絃箏)、堅田喜三郎(邦楽囃子)

委嘱作曲家 **岸野末利加**

曲目 酒井健治：Wavering (2017/2025) 改訂版初演【三味線】

藤家漢子 (本條秀慈郎 編曲)：風神(1994年度「日本の作曲家シリーズ」委嘱作品)

【尺八・三味線/胡弓・二十五絃箏版】

北爪道夫：螺旋 【大鼓・三味線】

岸野末利加：新作 (Just Composed 2026 委嘱作品：初演)【尺八・三味線・二十五絃箏・邦楽囃子】他

料金 全席指定 3,000円、65歳以上の方・障がい者手帳をお持ちの方 2,800円、

大学生 1,500円、高校生以下 1,200円

インターネット先行 11月18日(火)／一般発売 11月22日(土)

申込 横浜みなとみらいホールチケットセンター

☎045(682)2000 (電話 10:00-17:00／窓口 11:00-18:00 ※休館日・保守点検日除く)

主催=横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

※当事業の取材・情報掲載をお願い申し上げます。情報掲載の際はお手数ですが事前にご一報ください。

このプレスリリースに関するお問合せ *本日は17:15まで在席しております。

横浜みなとみらいホール (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 2-3-6 ☎代表：045(682)2020(9:00-18:00)／広報直通：045(682)2025 pr_mmh@yaf.or.jp

広報担当：藤井聡子、飯島玲名、松本 董 事業担当：菊地健一、三浦礼衣

本事業の注目ポイント

1. ジャンルを超えた共演に積極的な三味線奏者・本條秀慈郎が登場

三味線音楽の可能性を追求し、自身による作曲家への委嘱活動や様々なジャンルとの共演を重ね、演奏家や聴衆に多くの影響を与えている本條秀慈郎が「Just Composed」シリーズに初登場。

秀慈郎が掲げた今回のテーマは、日本の伝統的な「音の精神」。酒井健治や北爪道夫など、日本の作曲家による多面的かつ高解像度でハイブリッドな性質を持つ作品を取り上げます。三味線を軸にソロ、それぞれの楽器とのデュオ、トリオ、カルテット…と編成を変えながら、揺らぎ・風・螺旋などの日本独自の精神性を音楽で表現します。

「日本ならではの音楽やそこに宿る時代を超えた希望的な光に注目してほしい」という秀慈郎の想いがこもったプログラムにご注目ください。



本條秀慈郎

©TAMAKI YOSHIDA

2. ドイツを拠点に活躍する作曲家の新作を、邦楽奏者が初演

委嘱作曲家を選定したのは、作曲家・池辺晋一郎、音楽学者・白石美雪に、出演演奏家（今回は本條秀慈郎）を加えた3人の選定委員。演奏家が入れ替わることにより、様々な楽器で多様なテーマを取り上げます。

今回委嘱作曲家に選ばれたのは、ドイツ・ケルンを拠点に作曲活動を行い、国際的な活躍が目覚ましい岸野末利加です。

そして岸野が生み出す新作を演奏するのは、秀慈郎を含む国内外で活躍する邦楽奏者によって結成された邦楽アンサンブル「J-TRAD Ensemble MAHOROBA」。現代音楽と伝統音楽の双方をレパートリーとするメンバーによる新作初演にご期待ください。



岸野末利加 ©Keiko B Goto

3. 新作委嘱と再演を軸とし、横浜から同時代音楽を継承

1977年に横浜市が開始した「日本の作曲家シリーズ」を受け継ぎ、1999年より「Just Composed in Yokohama」として継続して開催している本シリーズでは、気鋭の作曲家への新作委嘱とともに、通算47回に及ぶ本シリーズで生み出された作品の再演も軸としてプログラミングを行っています。

今回の再演作品は、^{ふじいえけいこ}藤家漢子が、1994年度の「日本の作曲家シリーズ」の為に書き下ろした《風神》。尺八・チェロ・ギターのために書かれた本作を秀慈郎自身の手で尺八・三味線/胡弓・二十五絃箏版へと編曲し、新たな命が吹き込まれます。本シリーズ初となる邦楽奏者のみでの演奏をお楽しみください。

関連レクチャー

白石美雪による Just Composed 2026 の楽しみ方

本企画の選定委員で現代音楽のスペシャリスト・白石美雪が、出演者と共に公演内容を掘り下げて説明する毎年人気のレクチャーイベント。

日時 令和8年3月6日(金) 19:00 開始 (18:40 開場)

会場 横浜みなとみらいホール 6階 レセプションルーム

出演 本條秀慈郎(三味線)、白石美雪(武蔵野音楽大学教授、音楽学者)、岸野末利加(作曲)※オンライン出演

料金 無料(要事前申込)

申込方法 12月20日(土)より、ホールチケットセンター(045-682-2000)にて先着順で受付。

◆デジタルアーカイブ公開中◆

横浜みなとみらいホール WEB サイトでは、「Just Composed in Yokohama」、そして前身の「日本の作曲家シリーズ」の過去の公演情報をデータベース化し、デジタルアーカイブとして公開しています。

▶デジタルアーカイブ <https://yokohama-minatomiraihall.jp/archive/index.html>

